

一般質問

録画映像はこちら



12月12日～14日の3日間にわたって一般質問を行いました。一般質問とは市政全般について市の考えなどを聞くもので、26人の議員が質問を行いました。主な内容は次の通りです。(正式名称は欄外参照) 会派名は略称です。



子ども育成、教育など

育 全小学校の給食調理室へ早期にエアコン設置を

問 夏場における酷暑の長期化が進み、小学校の給食調理員にとって、ますます耐え難い過酷な状況となっている。環境改善は喫緊の課題であり、エアコンの全校設置に向けて、前倒しの対応を強く求めるが所見を問う。

答 給食調理室へのエアコン整備を加速するとともに、未整備校に床置き式スポットクーラーを設置するなど、熱中症対策の強化を図ってきた。今後とも、できる限り早期にエアコン整備を完了できるように取り組んでいく。

育 個別最適化教育の実現に向けモデル校の試行的導入を

問 個別最適化教育への転換に向け、子どもの学びや教師の働き方について段階的に理想的な姿を実現したモデル校を整備し、そこから抜本的な改革を進めるべきと考えるが所見を問う。

答 学びの改革と働き方改革の両面から取り組むことは重要。現在実施の働き方改革モデル校の取り組みを全校へ展開し、働



福岡市病児デイケアルームパンフレット

子ども 病児保育施設の確保や受け入れ人数の拡大を

問 病児保育の場所が圧倒的に不足している。病児保育施設数確保のスピードアップを図るとともに、施設のキャパシティを増やして受け入れ可能人数を増やすなど、方向性について所見を。

答 病児・病後児の保育は、病気の症状に合わせた対応や急変時の判断などが必要となるため、安心安全な医療体制を確保した上で実施する必要がある。増設や増床について、県や医療機関と協議を進めており、受け皿確保に向けてしっかりと取り組んでいく。

子ども 「おむつと安心定期便」の改善を

問 おむつと安心定期便の継続への期待は大きいですが、財源であることも未来基金にも限界がある。配送費や商品代などについて、さまざまな工夫により費用の削減を図ることが必要と考えるが、今後の事業実施に向け所見を問う。

答 おむつと安心定期便は、虐待などの未然防止と子育て家庭の経済的支援を目的に開始し、市民ニーズに応える事業であると実感している。今後とも市民が安心して子どもを生み育てられるようしっかりと取り組んでいく。

子ども 子どもの居場所づくりにより一層の力を

問 子どもの居場所の選択肢を増やすことはとても重要であり、NPOや民間企業と連携できれば、その可能性は広がる。子どもの居場所づくりにより一層力を入れてほしいが所見を問う。

答 本市では、これまでさまざまな地域資源を活用し、子どもの居場所づくりに取り組んできたところである。引き続き、空き家を含めた多様な場所を活用しながら、地域全体で子どもを見守り育む環境づくりをしっかりと進めていく。

商工業、観光、文化、農林水産業、港の整備など

港 福岡空港や博多港への軍事利用化要請に明確な拒否を

問 福岡空港や博多港の軍事利用化で政府が動いている。市は市民の命と財産、権利を守る

立場を明確にし、「戦争する国づくり」につながるすべての協力要請には応えないという明確な態度を示すべきだが所見を問う。

答 福岡空港・博多港が広く民間に利用されていることを踏まえ、市民生活の安全を確保する立場で今後とも適切に対応していく。国の安全保障に関する問題は、国の責任において適切に対応されるべきものと認識している。

文 文化芸術振興に向けた市長の意気込みを尋ねる

問 文化芸術の振興は市民生活の質の向上に欠かせない。市民が心豊かに文化芸術を楽しみ、活力ある魅力あるまちづくりに貢献できるよう、文化芸術振興に尽力する市長の意気込みを。

答 文化芸術は魅力ある都市づくりや都市の個性を形成する上で重要と考える。令和7年3月の開館に向け拠点文化施設の整備も進めており、今後とも市民が文化芸術に触れる機会を増やすとともに文化芸術活動者がより活動しやすい環境づくりを推進していく。

経済観光 福岡城跡を活用したMICE振興を

問 MICE振興に取り組むため、福岡城跡を福岡を代表する観光名所と認識してもらおうと、そのさらなる活用が必要と考えるが所見を問う。

答 福岡城跡については、本市の主要な観光スポットであり、城郭の景観形成や環境整備に取り組みできた。今後とも、天守台や石垣をより一層活用したライアップを行うなど、さらにその魅力が伝わるような取り組みを進

めることで、MICE振興にもしっかりと活用を図っていく。



福岡城跡

経 国際金融機能の誘致に引き続き尽力を

問 若さとチャレンジ精神にあふれた都市として成長し続けるため、国際金融機能の誘致に引き続き尽力してほしいが、来夏に国が公表する資産運用特区へ立候補するのか、その場合、他都市とどのように闘うのか所見を問う。

答 国際金融都市に向けた取り組みは、3年間で国内外から23社の誘致に成功するなど着実に成果を上げている。資産運用特区についても、誘致促進や金融機能の強化に資する内容であれば指定の獲得を前向きに検討していく。

農 林ICTを活用し、ため池の管理の負担軽減や安全性向上を

問 ため池の水位を遠隔で監視できるシステムは、防災上、安全上の観点から有効な方法と考えるが、市の考えを尋ねる。また、同システムを設置する計画はあるのか尋ねる。

答 お尋ねのシステムについては、集中豪雨などの際には、水位や施設の状態などを現地

へ行かずに確認できることから、防災危機管理対策として有効と考えており、初期費用や設置箇所、水位の確認システムなどについて検討を行っているところである。

林 給食を通じ、市内産米の「赤とんぼ米」など、素晴らしい米が市内で生産されていることを子どもたちにも伝えてほしいが所見を問う。

答 学校では、給食で使用する教材として活用することにより、生まれ育った地域の農産物の生産や流通について学びを深めている。今後ともさまざまな機会を捉えて情報発信に努めていく。

まちづくり 新天町・パルコ周辺街区の再開発プロジェクトへの支援を

問 天神と大名をつなぐ東西の通路や、地下鉄からきらめき通りをつなぐ南北の地下通路は、広く市民が利用する公共性の高い都市基盤であり、その整備は、市としても一定の負担が必要。国の補助制度なども活用した支援を検討してほしいが所見を。

答 公共性の高い都市基盤の創出にあたっては、これまで官民が連携し、役割に応じて進めてきたところであり、ご指摘の通路についても、支援のあり方について検討していく。

社会福祉、保健衛生、住宅、建築、都市計画、公園など